2021年春闘ニュース

発行：国鉄労働組合西日本本部 ／ 〒530-0034　大阪市北区錦町２番２号　国労大阪会館内　　第7号
電話番号／ＪＲ071-4548　(FAX)071-4556　　ＮＴＴ06-6358-1190　(FAX)06-6353-7849　2021年3月1日

第２回春闘交渉行う

「2021年度の期末手当等」について趣旨説明を行った。

国　労　要　求

2021年度「期末手当」について、基本給、エリア手当及び扶養手当を合算した賃金を支払うこと。

(1)「夏季手当」２．５箇月＋０．５箇月
　支払日は、「夏季手当」２０２１年６月３０日とすること。

(2)「年末手当」３．０箇月
　支払日は、「年末手当」２０２１年１２月１０日とすること。

今こそ内部留保・利益剰余金を活用し、賃上げ生活改善を

国労：会社は、第3四半期の決算公表では、連結で1618億円の赤字経営は確かに、厳しい状況下であるが、各四半期を切り分けてみると赤字幅は縮小している。
夏季手当における０．５カ月が要求である。国労試算ではあるが、内部留保・利益剰余金7680億円の一部６．３～６．４％を取り崩す体力は十分にある。
コロナ渦の中、エッセンシャルワーカーとして働き続けている医療関係社員をはじめ安全・安心輸送を提供する全社員、昼夜を問わず奮闘しているグループ会社の皆さん、全てのため、今こそ内部留保・利益剰余金を活用し賃上げ生活改善と内需拡大で日本経済の再生を図るため、企業としての社会的責任を果たすことを強く訴える。

会社：先般お伝えしているところであり、経営状況については厳しい状況が続いている中で、議論を進めていきたい。手当については、別途、日程調整があるので、議論をさせていただきたい。

厳しさを強調するあまりコロナ禍の中で労働者は疲弊している

国労：会社回答は厳しいといわれているが、決算資料では、7680億円もの利益剰余金を持っている。支払う体力は十分にある。
社員のモチベーション向上、雇用・生活を守るため答えるべきである。

会社：モチベーション向上は、同じ考えである。単体では5140億円の計上で、貸借対照表で表れているが、負債と純資産、設備に使いながらであり、現金があるのではない。1年で30年間の返した分6800億円資金調達・借金をしてきた。現時点、キャッシュをどうまわすかである。

国労：社員の気持ちが、持ちこたえられるか。持ちこたえられない。

会社：今、ゴールが見えないが、復活・復興していかなければならない。

国労：厳しさを強調するあまりコロナ禍の中で労働者は疲弊している。労働者のモチベーションが上がらない中で、心の底から会社の施策について行くわけがない。会社として労働者をどのように位置づけているかが問われている。

会社：社員のモチベーションを維持する何らかの手だては考えていかなければならない。